

## 第 1 回南越谷地区まちづくり会議の記録

会議名	第 1 回南越谷地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年 7 月 16 日 (火) 19 時～20 時 35 分
参加者数	31 人
事務局	<p>市長公室：徳沢政策担当部長</p> <p>政策課：山元副部長(兼)課長、木村調整幹、長瀬主査、平井技師</p> <p>都市計画課：田中副参事(兼)課長、北村副課長、麻喜主事</p> <p>道路建設課：長堀調整幹</p> <p>市民活動支援課：豊田主事</p> <p>南越谷地区センター・公民館：坂巻所長、砂川主事</p> <p>ランドブレイン：菅原氏、野沢氏</p>
議事	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 出席者紹介</li> <li>4 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地区まちづくり会議について</li> <li>(2) 会長・副会長の選出について</li> <li>(3) 第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について</li> <li>(4) 越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について</li> <li>(5) 地区まちづくり会議提言書の進捗状況について</li> <li>(6) 越谷市及び地区の現状（人口・土地利用）について</li> <li>(7) 南越谷地区まちづくり推進計画の総括について</li> <li>(8) 今後の進め方について</li> </ol> </li> <li>5 閉会</li> </ol>
質疑応答	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地区まちづくり会議について</li> <li>(2) 会長・副会長の選出について（会長・副会長が選出される）</li> <li>(3) 第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について</li> <li>(4) 越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について</li> <li>(5) 地区まちづくり会議提言書の進捗状況について</li> <li>(6) 越谷市及び地区の現状（人口・土地利用）について</li> <li>(7) 南越谷地区まちづくり推進計画の総括について</li> </ol> <p>(質疑なし)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(8) 今後の進め方について</li> </ol> <p>会長： 会議の日程についてである。南越谷地区の場合、過去に濃厚な議論が展開されたため、まちづくり会議は 5 回程度行いたい。11 月に提言書を市長に報告することからこの日程としている。次回からはグループワークを進めることを考えてい</p> </li> </ol>

る。グループワークを行うにあたって、従来は無作為にグループ分けを行っていたが、今回は3つにグループ分けを行い、協議をしてはどうかと考えている。総合振興計画で6つの施策の大綱を掲げている。この中で「目標1：市民とつくる住みよい自治のまちづくり」を【隣近所のコミュニティづくり】として、「目標2：だれもが健康で生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり」と「目標6：いきいきとだれもが学べる心豊かなまちづくり」を【健康で学べるまちづくり】として、「目標4：人や環境にやさしく安全・安心な生活を育むまちづくり」、「目標5：安心して働ける環境を育む持続的で躍動するまちづくり」を【環境にやさしく安全・安心なまちづくり】として、3つのテーマでグループワークを行うということで、ご意見はあるか。

委員： 異議なし。

委員： グループ分けを3つにした理由を教えてください。

会長： 3つくらいに分けると人数的にもちょうど良いと思った。3つのテーマを中心にまずは考えてもらいたいと感じた。

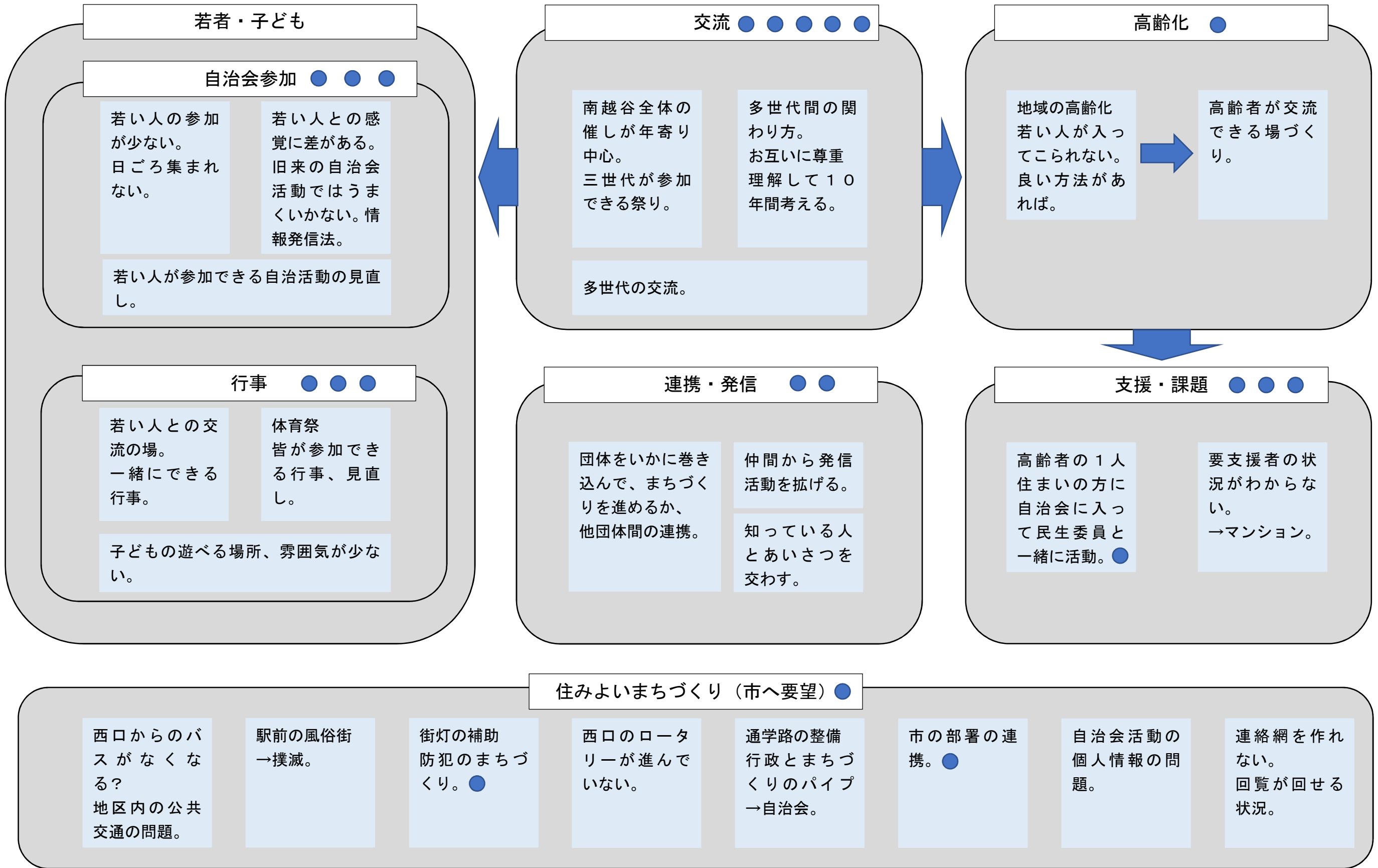
委員： 施策の進捗状況について質問がある。都市計画道路越谷吉川線の整備について、工事が行われているのは知っているが、どの図を見ても全て出来上がったように見える。どこまでが出来て、どこまでが出来ていないのか、分かる図が欲しい。

市： 越谷吉川線について、レイクタウンのある、平方東京線の交差点から足立越谷線までが現在出来上がっている。市で現在、足立越谷線から東武線に至るまでの300mについて用地の取得をしているところである。東武線から先についてはまだ事業化されていない状況である。東側の吉川橋にかけても現在埼玉県で事業を行っている。今年秋に2車線暫定で供用開始する予定である。次回以降分かりやすい地図を作成したい。

## 第 2 回南越谷地区まちづくり会議の記録

会議名	第 2 回南越谷地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年 8 月 6 日 (火) 19 時～21 時
参加者数	27 人
事務局	<p>市長公室：徳沢部長</p> <p>政策課：山元副部長(兼)課長、木村調整幹、長瀬主査、平井技師</p> <p>都市計画課：田中副参事(兼)課長、北村副課長、麻喜主事</p> <p>道路建設課：長堀調整幹</p> <p>市民活動支援課：豊田主事</p> <p>南越谷地区センター・公民館：坂巻所長、砂川主事</p> <p>ランドブレイン：石村氏、菅原氏、野沢氏</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 グループワーク</p> <p>(1) グループワークの進め方について (5分)</p> <p>(2) 地域の現状と課題の抽出 (5分)</p> <p>(3) 各グループ意見交換 (25分)</p> <p>(4) 各グループ意見発表 (15分 (5分×3グループ))</p> <p>(5) 全体意見交換 (10分)</p> <p>(6) 重点的・優先的に取り組むべき課題の選考 (10分)</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
質疑応答	質疑：特になし

地域コミュニティグループ



# 健康・スポーツ・生涯学習グループ

## コミュニティ意識の改革 ●

組織間連携。

連絡網が使えない。  
電話番号も非表示。

コミュニケーションを深めること。 ●

イベント、自治会加入への負担軽減策。 ● ●

隣近所の交流が少ない。

住民意識の変化をふまえたまちづくり。 ●

声をかけながら回覧を回せるような環境。

## 見守り

子ども見守り体制。 ● ●

民生委員の見直し、地域包括支援の充実。 ●

高齢者も地域に参画できるような形。

街灯が少ない。

高齢者の見守り。

ながら見守り。 ●

## PR ●

ボランティア情報が少ない。

PR、情報発信。

情報発信方法のあり方。 ● ● ●

外国人に対するルール。アピール。

地区の情報が行き届いていない。

自治会加入者アピールが足りない。 ●

## 遊べる場・スポーツする場 ● ● ● ● ● ● ● ●

子どもが1人で遊べる場がない。

子どもが遊べるよう、大人の寛容さも必要。

子どもがボール遊びできる場。

遊べる場の減少は、子どもの健康に影響。

地区の子どもに、体を動かす場を。

学校の校庭の使い方。公園のように使えない。

スポーツをする場がない。

高齢者の運動の場。高齢者や子どもがともに遊べる場。

ボール遊びができる場を。

子ども、高齢者が気軽に立ち寄れる場所（公園、校庭）。 ●

運動する場所が足りない。

## イベント

スポーツ企画。 ● ●

地域に根差したイベント。

体育祭イベントを開催するが、人が少ない。

若い人が企画すべき。

子ども会に入る人が少ない。

参加したくなるような魅力的なイベントが必要。

## 生きがいづくり ● ● ● ● ●

高齢者の生きがいづくり。

20年前に比較して、皆足腰が弱ってきている。これらをふまえた提言を。

もっと深める時間を！

# 環境・安全安心グループ

## ネットワーク強化

福祉村へのネットワーク強化。

若草 12月にバスがなくなる、市から補助を。

高齢者の足の確保。

広幅員道路による分断対策。

## 歩道環境

歩道がデコボコ。

歩道が車いすで通れない。

ブロック塀対策。

歩道の管理・充実。

歩道の段差。

電柱が歩道上に！

## 生活道路安全性

南団地の道路が抜け道に…。

狭あいな道路。

建替時のセットバック。

## 災害対応

災害時の体制構築。

高齢者・子どもしかいない。

防災訓練を意味あるものに！

## 少子化対策

少子化対策。

婚活パーティー。

## 防犯・治安

街灯設置。

防犯カメラ。

街灯で防犯。

治安防犯。

歩きスマホ。自転車スマホ。

空き家対策。

## 駅西口

西口ロータリー。

駅西口の再整備。

## ゴミ問題

粗大ごみの不法投棄。

ゴミの不法投棄。

ごみのポイ捨て（植栽・ベンチ）。

## 緑管理

宅地内の庭木の管理（南団地）。

中学校の高木の管理。

行政からの支援強化。

ビオトープの管理。

道路・公園の清掃活動（落ち葉・繁茂）。

## 緑化推進

グリーンベルト街路樹の管理。

グリーンベルト出羽堀の活用。

公園フリースペース。

### 第3回南越谷地区まちづくり会議の記録

会議名	第3回南越谷地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年8月30日(金) 19時~21時
参加者数	26人
事務局	政策課：山元副部長(兼)課長、木村調整幹、長瀬主査、平井技師 都市計画課：北村副課長、 市民活動支援課：豊田主事 南越谷地区センター・公民館：坂巻所長、砂川主事 ランドブレイン：石村氏、菅原氏、野沢氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 グループワーク (1) 南越谷地区まちづくり提言書(素案)について ① 地区の現状、課題及び重点的・優先的に取り組むべき課題の確認 について(第2回会議の振返り) ② 提言書の策定作業について 4 その他 5 閉会
質疑応答	質疑：特になし

# グループワークにおける意見まとめ

## 目標 1 持続可能な 多世代型コミュニティづくり

### 取組の方向性 1 - I 持続可能なコミュニティ活動の展開

- 【取組みの提言】
- ① コミュニティ活動の活性化
  - ② 組織間連携の強化
  - ③ コミュニティ活動の見直し

#### 【取組の方向性 1 - I に関わる意見・キーワード】

##### 【文言の修正について】

- ・「多世代型コミュニティづくり」→「すべての世代がいつまでも続いていける仲間づくり」にするべき
- ・「持続可能」→「いつまでも続いていける」にするべき
- ・「③コミュニティ活動の見直し」は①と②に統合できるのではないか

##### 【取組・キーワード】

- ・楽しめるコミュニティづくり
- ・団体どうしのつながりを強くする
- ・人が入れ替わる中でのコミュニティづくり
- ・連携、行事

### 取組の方向性 1 - II 多世代を巻き込んだコミュニティづくり

- 【取組みの提言】
- ① 若者が参加しやすい環境づくり
  - ② コミュニティ活動の積極的な情報発信
  - ③ コミュニケーションの強化

#### 【取組の方向性 1 - II に関わる意見・キーワード】

##### 【文言の修正について】

- ・「多世代を巻き込んだ」→「すべての世代を巻き込める」にするべき
- ・「若者が」→「誰もが」にするべき
- ・「コミュニティ活動の積極的な情報発信」→「ふれあい豊かな町中にあいさつの輪を広げる情報の共有」など柔らかい表現にすべき

##### 【取組・キーワード】

- ・子供から大人まで全ての人
- ・三世代でつくるまちづくり、若者、子ども
- ・参加、発信、交流



## 目標1 持続可能な多世代型コミュニティづくり

### 取組の方向性1-Ⅲ 高齢化に対応したコミュニティづくり

- 【取組みの提言】
- ① 高齢世帯の把握・支援
  - ② 高齢者が交流できる場の確保

#### 【取組の方向性1-Ⅲに関わる意見・キーワード】

##### 【文言の修正について】

- ・「高齢化」→「高齢社会」にすべき
- ・「コミュニティ」→「仲間」にすべき
- ・高齢者世帯の「把握・支援」→「見守り」にすべき
- ・「交流できる場の確保」→「気兼ねなく、楽しく交流できる機会をつくる」にすべき

##### 【取組・キーワード】

- ・隣近所のコミュニティ
- ・「見守り」の具体イメージとして、「日頃から付き合える環境」、「高齢者要支援者制度の見直し」、「出かけたくなる場づくり」、「声掛け」など
- ・高齢化、支援、交流

【全体に関わる意見】

- ・取組の主体と内容をもっと具体的にすべきである
- ・「学習」の観点、取組が少ないのではないか
- ・世代間の交流の機会がない

目標 2 にぎわいと健康・学習のまちづくり

取組の方向性 2-I にぎわいを生み出す仕掛けづくり

- 【取組みの提言】
- ① 新越谷駅西口の再整備の促進
  - ② イベントの充実
  - ③ 情報発信の強化
  - ④ 風紀の改善

【取組の方向性 2-I に関わる意見・キーワード】

【取組・キーワード】

- ・越谷駅から続く上層部の創出・活用
- ・イベントを充実させるためには世代間交流の促進が必要である
- ・イベントの充実に向けた、若者の興味・関心をひきよせるようなコンテンツ開発
- ・情報発信の提供手法の多様化が必要。世代に合った情報提供手法の検討が必要
- ・地区センターを情報発信の拠点にすれば良いのではないか

取組の方向性 2-II 誰もが健康で暮らせる環境づくり

- 【取組みの提言】
- ① 遊べる場・スポーツの場の確保
  - ② 高齢者の生きがいづくり
  - ③ 地域包括支援の充実

【取組の方向性 2-II に関わる意見・キーワード】

【取組・キーワード】

- ・公民館を積極的に活用すべき
- ・高齢者の社会見学などを充実すべき

取組の方向性 2-III 世代間交流を通じた心の健康づくり  
(「学習」や「文化活動」を通じた世代間交流)

【取組の方向性 2-III に関わる意見・キーワード】

【取組・キーワード】

- ・「学習」に関して様々な組織で講座などを解説してはどうか
- ・高齢者のボランティアが子どもに学習指導してはどうか
- ・外国人が増えているので英語指導が必要である
- ・地区センターを有効活用すべきである
- ・音楽活動、ヨガ、囲碁、将棋など娯楽・文化活動を通じた交流
- ・PTA を活用した交流促進

【全体に関わる意見】

- ・自分たちでできることを考えていかなきゃいけない
- ・実際に動く時に市のどの部署と連携するのかを明確に
- ・市から住民へ任せる部分を増やしていく

目標 3 環境豊かな 安全・安心のまちづくり

取組の方向性 3-I 誰もが快適に利用できる交通ネットワークづくり

- 【取組みの提言】
- ① 道路環境の充実
  - ② 安全な歩行空間の確保
  - ③ 交通安全対策の充実
  - ④ 公共交通網の維持

【取組の方向性 3-I に関わる意見・キーワード】

【取組・キーワード】

- ・市への情報提供（危険な箇所）
- ・通学路の安全性の確保（特に帰りの時間帯）

取組の方向性 3-II 災害時に強いまちづくり

- 【取組みの提言】
- ① 防災意識の向上
  - ② 災害時の体制づくり

取組の方向性 3-III 安全・安心の防犯まちづくり

- 【取組みの提言】
- ① 防犯施設の設置推進
  - ② 子どもの見守り体制の強化
  - ③ 空き家対策の検討
  - ④ マナー啓発活動の推進

【取組の方向性 3-II、III に関わる意見・キーワード】

【取組・キーワード】

- ・赤山町4丁目水路へのふたを設置希望→避難経路にも活用できるようになる
- ・ハザードマップの定期的な見直し。ハザードマップの想定を見直してはどうか
- ・災害時の避難経路の確保
- ・防災活動への意識を高める
- ・いざ災害が起きた時の細かい対策
- ・住民として市に姿勢を見せる
- ・地域住民の同意を得られるように

取組の方向性 3-IV 緑を活かした美しいまちづくり

- 【取組みの提言】
- ① 地域資源の活用による緑化推進
  - ② 緑の適正管理
  - ③ 美化活動の強化
  - ④ 不法投棄への対応

【取組の方向性 3-IV に関わる意見・キーワード】

【取組・キーワード】

- ・花いっぱい活動の場所を見直してはどうか（出羽堀など）
- ・道路の緑地管理を住民で行う。市は支援を
- ・緑の管理に団体以外の地域住民と連携を強化
- ・出羽堀の水質改善、植樹の植上り対策

## 第4回南越谷地区まちづくり会議の記録

会議名	第4回南越谷地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年9月25日(水) 19時~21時
参加者数	25人
事務局	政策課：木村調整幹、長瀬主査、平井技師 都市計画課：北村副課長、麻喜主事 市民活動支援課：豊田主事 南越谷地区センター・公民館：坂巻所長 ランドブレイン：大屋氏、菅原氏、野沢氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 グループワーク 南越谷地区まちづくり提言書(案)について ・取組の提言の検討 ・市への提言の検討 ・将来像の検討(全体) 4 その他 5 閉会
質疑応答	質疑：特になし

## グループワーク結果（取組の提言の検討）

### 取組の方向性 1 – I すべての世代を巻き込めるコミュニティづくり

本地区のコミュニティ活動を更に盛り上げていくために、若者世代や新しい住民が参加しやすい環境づくりに取り組みます。

また、地区のコミュニティ活動についてのPR活動や、交流イベント等の実施によるコミュニケーションの強化を図り、子どもから高齢者まで（**中間世代の参加を**）、多世代を巻き込んだコミュニティづくりを目指します。

取組の提言	内容
① 誰もが参加しやすい環境づくり	● 子どもから高齢者まで、全ての世代の参加によるコミュニティ活動の展開を目指し、誰もが参加しやすい環境づくりに取り組みます。
② ふれあい豊かな情報の共有	● すべての世代に地区の的確な情報が行き渡るように、コミュニティ活動の積極的な発信に取り組みます。
③ 町中にあいさつの輪を広げる	● あいさつが飛び交う明るいコミュニティづくりを目指し、住民同士のコミュニケーションの強化に取り組みます。

### 取組の方向性 1 – II いつまでも続いていけるコミュニティ活動

本地区はコミュニティ活動**地区の活動**が非常に盛んに行われていることから、引き続き、コミュニティ活動**地区の活動**の活性化に取り組むとともに、**組織間連携（団体同士）強化**を図ります。

また、将来にわたって持続可能な**続けていける活動**が展開できるよう、活動内容の見直しにも取り組みます。

取組の提言	内容
① 楽しめるコミュニティづくり	● 本地区の誇りでもある多様なコミュニティ活動を、将来にわたって継続・発展させていくために、誰もが参加しやすいコミュニティ活動の見直しに取り組みます。
② 団体同士のつながりを強くする	● コミュニティ活動の維持・継続と更なる充実に向けて、地区内の各団体や市関係部署（ <b>団体同士</b> ）との連携強化に取り組みます。

### 取組の方向性 1 – III 高齢者が暮らしやすい高齢社会に対応した仲間づくり

本地区は、今後住民の高齢化が見込まれることから、地区内の高齢世帯を把握し、必要な支援に取り組むとともに、高齢者が日常的に集まることができる場（**交流の場**）の確保など、高齢者が暮らしやすいコミュニティ**まち**づくりを目指します。

取組の提言	内容
① 高齢世帯の見守り	● 住民の高齢化が進む中で、高齢者が安全・安心に日常生活を送ることができるように、地区内の高齢世帯の見守り活動に取り組みます。
② 高齢者が気兼ねなく楽しく交流できる機会をつくる	● 高齢者がコミュニティ活動に積極的に参加できるように、 <b>声かけ</b> など多様な交流の機会の創出に取り組みます。

## 取組の方向性 2-I にぎわいを生み出す仕掛けづくり

鉄道駅が整備され、越谷市の玄関口の一つでもある本地区は、多くの人が集う、利便性の高いまちづくりが進められています。

住民の生活利便性の更なる向上に向けて、新越谷駅西口の再整備を促進するとともに、住民や来訪者との交流の場となるイベント等を開催し、にぎわいのある魅力的なまちづくりに取り組みます。

取組の提言	内容
① 新越谷駅西口の再整備(開発)の促進	● 本地区の玄関口となる新越谷駅西口の再整備(開発)に向けて、住民の立場から積極的な働きかけに取り組みます。
② イベントの充実	● にぎわいの創出やコミュニティの繋がりの強化に向けて、多世代が参加できる多様なイベントの企画・開催に取り組みます。
③ 情報発信の強化	● 更なるにぎわいづくりに向け、本地区が実施しているコミュニティ活動やイベントなどを、地区の内外に広く周知できるよう、情報発信の強化に取り組みます。
④ 誰もが気持ちよく利用できる駅周辺の環境づくり	● 多くの人々が行き交う駅周辺エリアは、本地区の玄関口でもあることから、関係機関との連携を図りながら、誰もが気持ちよく利用できる環境づくりに取り組みます。

## 取組の方向性 2-II 誰もが健康で暮らせる環境づくり

多くの市民が居住する本地区においては、子どもから高齢者まで、誰もが健康でいきいきと生活できる環境づくりが求められます。

地区の将来を支える子どもたちが身近に遊び、スポーツをすることができる場所の確保や地域包括支援の実施等、誰もが健康に暮らせる環境づくりに取り組みます。

取組の提言	内容
① 遊べる場・スポーツの場の確保	● 子どもから高齢者まで、誰もが健康的な生活を送ることができるように、気軽に遊び、スポーツすることができる場の確保に向けて、既存施設の適正管理やルールづくりに取り組みます。
② 地域包括支援の充実	● 地区の高齢化が進む中で、高齢者がこれからも安全・安心に暮らしていくことができるように、地域全体で見守る仕組みの継続的な実施に向けた体制の強化に取り組みます。
③ 学習・文化活動の充実	●

取組の方向性  
2-IIIへ移動

## 取組の方向性 2-Ⅲ 生きがいをもって暮らせる環境づくり

今後高齢者の増加が見込まれる中、高齢者が住み慣れた地域で元気で自立した生活を送るためには、生きがいを持って地域で活動することが重要です。

高齢者と地区の将来を支える子どもたち等との世代間交流や、高齢者を対象としたイベント等の充実により、高齢者社会を迎えても、誰もが生きがいを持って生活できる環境づくりに取り組みます。

取組の提言	内容
① 学習・文化活動等を通じた世代間交流の促進	● 高齢者を中心として、子どもたちの健やかな成長をコミュニティ全体で見守っていけるように、学習指導や文化活動などによる世代間交流の場づくりに取り組みます。
② 高齢者が楽しめるイベント等の充実	● 高齢者が生きがいをもって健康に暮らすことができるように、高齢者を対象とした様々なイベントの企画・開催に取り組みます。
③ 地域包括支援の充実	● <b>地区の高齢化が進む中で、高齢者がこれからも安全・安心に暮らしていくことができるように、地域全体で見守る仕組みの継続的な実施に向けた体制の強化に取り組みます。</b>

### 取組の方向性 3-I 誰もが快適に利用できる交通ネットワークづくり

本地区は、本市の交通の要衝のひとつでもあり、多くの自動車やバス等が行き来していることから、引き続き、道路網の適正管理と計画的な整備を促進するとともに、住民や来訪者の安全・安心の確保に向けた交通安全対策の充実に取り組みます。

また、子どもから高齢者、障がいを持つ方まで、誰もが安全・安心に移動できるよう、歩行空間の確保に取り組むとともに、自動車を運転できない住民が円滑に目的地まで移動できるよう、路線バスをはじめとする公共交通網の維持に向けた取組みについても検討します。

取組の提言	内容
① 道路環境の充実	● 住民の移動を支える道路網の適切な維持・管理・整備に向けて、市との連携を図りながら、市民の立場からできることに積極的に取り組みます。
② 安全な歩行空間の確保	● 子どもから高齢者、障がいを持つ方まで、誰もが安全・安心に移動できるよう、市との連携を図りながら、安全な歩行空間の確保に積極的に取り組みます。
③ 交通安全対策の充実	● 交通の要衝として、多くの人と自動車・バス等が行き来する本地区の安全性を確保するため、関係機関との連携を図りながら、交通安全対策の充実に取り組みます。
④ 公共交通網の維持	● 子どもや高齢者の移動を支える公共交通網を、将来にわたって維持していけるように、積極的な利用を図りながら、必要に応じて市への要望活動に取り組みます。

### 取組の方向性 3-II 災害時対応の充実

多くの市民が居住する本地区においては、災害を見据えた防災・減災に向けた取組みの充実が求められます。

引き続き、防災訓練等による住民の防災意識の醸成を図りながら、自助・共助・公助の考えの下、多様な主体と連携した災害時の体制構築に取り組みます。

取組の提言	内容
① 防災・減災意識の向上	● 激甚化する地震や台風等の自然災害から、生命と財産を守るため、住民同士の連携強化や災害情報の共有を図りながら、日頃からの防災・減災意識の醸成に取り組みます。
② 災害時の体制づくり	● 災害時にも、落ち着いて適切な対応をとれるように、日頃から多様な主体との情報共有や連携を図りながら、細やかな防災体制の構築や避難路の確保に取り組みます。

- ・「復旧」「地区の特性」の視点・文言を追加
- ・「災害」については「地震だけでなく台風」も見据えた文言に



### 取組の方向性 3 – III 防犯環境の充実

鉄道駅周辺を中心に、多くの人が集う本地区においては、住民の安全・安心の確保に向けた防犯環境の充実が求められます。

街灯や防犯カメラなどの設置や子どもの見守り体制の強化、住民や来訪者のマナー啓発活動に取り組むとともに、今後増加が予想される地区内での空き家対策についての検討を進めます。

取組の提言	内容
① 防犯施設の設置推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多くの人が集う本地区の治安の維持・向上に向けて、市や事業者との連携を図りながら、街灯や防犯カメラなどの防犯施設の設置促進に取り組みます。</li> </ul>
② 子どもの見守り体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区の宝である子どもたちの安全・安心を、コミュニティ全体で支えるため、子どもたちの見守り活動の更なる充実に向けた体制強化に取り組みます。</li> </ul>
③ 空き家対策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民の高齢化に伴い、地区内での空き家の増加が見込まれることから、住民同士で空き家に係る情報の共有を図りながら<b>行政とも連携し</b>、適切な管理・活用の促進に取り組みます。</li> </ul>
④ マナー啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道駅周辺は、住民以外にも多くの人が行き来することから、誰もが気持ちよく、安全・安心に過ごすことができるように、利用者のマナー啓発活動に積極的に取り組みます。</li> </ul>

### 取組の方向性 3 – IV 水と緑を生かした美しいまちづくり

多くの人が暮らし、訪れる本地区においては、住民や来訪者が身近に緑を感じることができる潤いのあるまちづくりに向けて、地域の資源を生かした緑化の推進を図るとともに、それらの適切な維持・管理に取り組みます。

また、住民が誇れる美しいまちづくりに向けて、引き続き、花いっぱい活動や清掃活動などの地区内での美化活動の強化や、近年増加している不法投棄への対応について取り組みます。

取組の提言	内容
① 地域資源の活用による緑化推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グリーンベルトや出羽掘などの地域資源を生かした、潤いのある環境づくりに向けて、市との連携を図りながら、住民が主体となった管理・活用に積極的に取り組みます。</li> </ul>
② 緑の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 街路樹や公園、公共施設など、本地区の良好な緑環境を支える身近な緑地の適正管理に取り組みます。</li> </ul>
③ 美化活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多くの人が暮らし、訪れる本地区の特性を踏まえ、誰もが身近に緑を感じられる環境づくりに向けた美化活動に積極的に取り組みます。</li> </ul>
④ 不法投棄への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本地区の良好な環境を損ねる不法投棄の撲滅に向けて、関係機関との連携強化を図りながら、防止対策に取り組みます。</li> </ul>

# グループワーク結果（市への提言の検討）

## 目標 1 すべての世代がいつまでも続いていける仲間づくり

取組の提言	期待する内容
① 地区センターとの連携強化	<ul style="list-style-type: none"><li>● コミュニティ活動の拠点となる地区センターとの更なる連携強化を図り、他団体とのマッチング(横の連絡)や情報共有、多様な世代を巻き込むためのコミュニティ活動のPRや情報発信など、コミュニティ活動の活性化に向けた取組を期待します。</li></ul>
② 市担当課からの支援	<ul style="list-style-type: none"><li>● 住民が主体となったコミュニティ活動を展開していくうえで、先進事例や補助メニューの紹介など、様々な情報が得られるように、その取組を所管する市担当課と、気軽に相談や情報共有を図ることができる体制づくりを期待します。</li></ul>
③ 団体間(自治会、コミュ協、スポレク、公民館協力委員会、老人会、子供会等)交流への市の関与	<ul style="list-style-type: none"><li>●</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●</li></ul>

## 目標 2 にぎわいと健康・学習のまちづくり

取組の提言	期待する内容
① 新越谷西口の再整備(再開発)に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本地区の玄関口となる新越谷駅西口の再整備に向けて、関係機関との協議・検討など、事業の具体化に向けた積極的な取組の展開を期待します。</li> </ul>
② 地区内イベントの積極的な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区内で開催される各種イベントについて、より多くの人に参加できるよう、市ホームページやSNS、シティメールなどを活用した広報や、ポスター配布(各地区、各戸への配布)など、積極的な情報発信を期待します。</li> </ul>
③ 公園・公共施設(スポーツ施設)の適正管理と活用確保に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民が公園や公共施設を安全・安心に利用できるように、遊具や緑地などの適正管理を推進するとともに、子どもたちがより気軽に、より自由に利用できるようにルール整備を期待します。</li> </ul>
④ 高齢者支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者が安全・安心で、生きがいを持って暮らすことができるように、地域包括支援センターをはじめ関係機関・団体との連携を図り、高齢者支援の更なる充実を期待します。</li> </ul>
⑤ 中間層(20~40代)の意見を聞く場の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>

### 目標3 環境豊かな 安全・安心のまちづくり

取組の提言	期待する内容
① 計画的な道路整備・管理の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区内で計画されている道路整備を円滑に遂行するとともに、住民からの情報提供を踏まえた既存の道路や歩道環境、街路樹等の適正管理・改善による、安全・安心な移動環境の確保を期待します。</li> </ul>
② 交通安全・防犯対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路の整備・管理と併せて、信号機や横断歩道、ガードレール、街灯の設置、スクールゾーンの指定について、地域との情報共有を図り、交通安全や防犯対策の強化に向けた取組を期待します。</li> </ul>
③ 公共交通網の維持に向けた取組促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもや高齢者が、公共交通網を将来にわたって利用することができるように、既存のバス路線の維持に向けた事業者との協議や新たな交通システムの導入に向けた取組を期待します。</li> </ul>
④ 防災・減災に向けた環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害時における住民への適切な避難指示の伝達や避難場所の整備(+情報提供)及び備蓄等の機能強化、大雨等による浸水被害の抑制に向けた排水施設等の改善など、地区の安全性の確保に資するハード・ソフト両面の整備強化を期待します。</li> </ul> <div data-bbox="683 974 1257 1120" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・「要支援者の情報提供」、「復旧計画」、「住民が取り組む補助メニュー」に関する視点・文言を追加</p> </div>
⑤ 空き家等の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地区内での増加が予想される空き家については、「越谷市空き家等対策計画」に基づいた空き家の適正管理、発生の予防・促進、活用・流通の促進に向けた取組を期待します。</li> </ul> <div data-bbox="683 1317 1257 1424" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・「住民による管理を許容」に関する視点・文言を追加</p> </div>
⑥ 緑化の推進に向けた支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 花いっぱい活動をはじめ、本地区で活発に行われている緑化活動について、住民がこれまで以上に主体的に取り組むことができるような環境整備を期待します。</li> </ul>
⑦ 担当窓口の整理・明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>

# グループワーク結果（将来像の検討）

《現行計画の将来像》

心のふれあいを大切に、活気と住みやすさを実現するまち 南越谷

《第4回地区まちづくり会議でのキーワード》

- 色々な人が交流できる
- すべての世代が交流・参加
- 笑顔で暮らせる
- 未来都市
- スマイル
- きれいなまち
- 災害に強いまち（人とのつながり）
- 水と緑
- 人と寄り添う
- 心と寄り添う
- 会話する
- 暮らしに便利な南越谷
- みんなで（多世代、性別、男女共同参画、ジェンダーフリー、多国籍など）

## 第 5 回南越谷地区まちづくり会議の記録

会議名	第 5 回南越谷地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年 10 月 24 日（木） 19 時～21 時
参加者数	24 人
事務局	<p>市長公室：徳沢政策担当部長</p> <p>政策課：山元副部長(兼)課長、木村調整幹、長瀬主査、平井技師</p> <p>都市計画課：田中副参事(兼)課長、北村副課長、麻喜主事</p> <p>市民活動支援課：豊田主事</p> <p>南越谷地区センター・公民館：坂巻所長、砂川主事</p> <p>ランドブレイン：菅原氏、野沢氏</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>（1）南越谷地区まちづくり提言書（案）について</p> <p>（2）地区将来像について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
質疑応答	<p>3 議事</p> <p>（1）南越谷地区まちづくり提言書（案）について</p> <p>■目標 1 についての意見</p> <p>委員： 特になし</p> <p>■目標 2 についての意見</p> <p>委員： 取組の方向性「2-1-①新越谷駅西口の再整備の促進」とあるが、前回「再開発」ということでもっと大規模に見てほしいとお願いしたと思うが、変更がないということはまた縮小ということか。ロータリーの整備だけでは新しい新越谷にはならないと思う。お願いが却下された形になっており、住民としてはもっと大規模にお願いしたいところである。</p> <p>事務局： 再開発のお話はいただいたと思うが、事務局として 11 ページにある期待する内容のところで、西口のさらなる賑わいと利便性の向上という内容の発言というように受け止めさせていただいた。再開発ではなく再整備の中でより南越谷の新越谷駅の西口を賑わいの創出と利便性の向上を図る形で提案させていただいたがいかがか。</p> <p>委員： 予算的などころで現実には再開発はとても難しいと思う。「再整備」というのはよく分かるが、駅前広場をちょっと直して終わりになってしまうと思うが、この先新越谷がもっと発展していくためには再開発を考えていかないとまちづくりとしては後ろ向きではないか。古い建物が周りがあるのでそこも巻き込んでいかなければ、部分的に少しずつ修正を繰り返すのではまちが固まってしまうと思う。そ</p>

れで前回は再開発をお願いしたはずなのだが。

委員： 「再開発」といったのでこれならいいと思った。

事務局： 「再整備」と「再開発」の言葉のお話だと思う。全体的にまちをどう作るかというお話だと思う。地区の方のお話を聞くと西口全体、単なる一か所をどうにか直すという問題ではないという意見だと思う。その意気込みの中で地区の方が再開発をお望みであれば、手法はどういったことになるかはわからないが、提言書の中では地区の希望ということで再開発の促進、「再整備」の言葉を「再開発」と直させていただく形でいかがか。

委員： 言葉的には「促進」ではなく「取組」かもしれないが、北千住や大宮の人口地盤のように、東武線も駅前のまちづくりがあると新越谷も発展すると思ってお願いをしている。

会長： 「再開発への取組」という言葉にしてはどうか。

委員： 東口のサンシティは再開発という言葉が当てはまるか検討していただきたい。まちをもっと大きくしなければならない。

委員： 所沢では西武の本社が来ている。所沢の変化はすごい。20～30年の間に高層マンションが開発され、がらりと変わった。所沢がどのように昔の商店街をなくして開発していったか、その変化を見たことがあるか。通りを広げ、古い商店街はなくなり、マンションだらけになっている。越谷もできないことはないと思う。「再整備」ではなく「再開発」である。市で勉強してほしい。北千住も発展している。越谷と違い、町役場の立派な建物が並んでいる。そういったところも勉強してほしいと思う。

会長： 「新越谷駅西口の再開発への取組」として、内容も「再開発」とし、資料の参考の11ページも「再開発に向けた取組」と直すことでよろしいか。事務局は問題ないか。動くとなると自治連が中心となると思うがよろしいか。

委員： 去年から賑わいや再開発の話が出ている。市長とも懇談会でお話しするつもりである。7年、8年先のことが見えている。力不足で申し訳ないが、自治連として調整することは非常に難しい。

会長： 自治連としては再開発ではなく再整備の方が良いととってよろしいか。地区として再開発に具体的に取組んでいくことでどのような展開になるのか私も想像がつかない。

委員： 流れでは再整備。私は二回立体化してくれと言っている。またパチンコ店をなくし広くしてほしいと言っている。とりあえずはロータリーを撤去して、ということはあるが。

委員： これは我々が市へお願いする提言書の案なのか。地区としてやっていくことになるのか。

会長： 主体はあくまでも我々である。

委員： ソフト面は我々がやるが、そうでない部分は市でどういった考えをもっているか、それが聞きたい。

会長： 再開発として我々としてどういった取組をやっていくかというこ  
とで行政の対応も変わってくる。

委員： 遊べる場の確保といっても、我々ができることではない。市で検討  
していただかないと、住民が何とかしようとするものでもないの  
ではないか。市にお願いすることだから、再整備の促進ならそれでいい  
が、促進から再開発の道を導いてほしい、頭の中のどこかに再開発を  
入れてほしいというのは難しいことなのか。

事務局： これは 11 ページの「市のまちづくりへの提言」に載せるべき内  
容なのかとを感じる。

委員： 未来像は関係ないのか。現実的な話をするものなのか。未来に向け  
て再開発や東武線の高架化にもお金がかかるものだが、出来上がっ  
てみれば素晴らしいものではないか。再整備といってもいつまでも  
ぐずぐずしていたら終わってしまうではないか。市で本当に動かな  
ければ再開発などできない。将来的なものを書くことはできないの  
か。再整備とは、直す箇所を見つけていこうという問題ではないと思  
う。

事務局： 今のお話だと 6 ページの部分は地区の方の取組としてのお話な  
ので、取組の提言は「西口の再整備の促進」で内容としては「私たち  
はこういうことを働きかけていきます」ということでよいと思う。今  
のお考えで行くと 11 ページ、目標 2-①は「市のまちづくりへの提  
言」の「期待する内容」として「賑わいの創出と利便性の向上」を「賑  
わいの創出や利便性の向上に向けた再開発の検討」にするといった  
ご希望になるかと思う。

委員： そうかもしれない。私は再開発の会社に勤めていた。今すぐにでき  
ないことは分かるが、是非検討していただきたいと思う。

会長： 11 ページの目標 2-①「期待する内容」について「再開発」という  
文言を入れてもらうということで、よろしいか。

委員： 異議なし

会長： 文言については事務局と私どもにらせていただきたい。

#### ■目標 3 についての意見

委員： 特になし

会長： それでは、提言書の取組内容について、一部文言の修正については  
正副会長及び事務局に一任させていただくことで、取りまとめてい  
くことで問題ないか。

委員： 異議なし

#### (2) 地区将来像について

委員： 将来像案④について「夢を育む（創造する）」とあるがこれはその  
ままもし選ばれたら採用されるのか。

事務局： 今段階としては案として出していただいた原文の状態である。も



	<p>し選ばれた時には「育む」もしくは「創造する」を再度検討していただくことになる。</p> <p style="text-align: center;">～投票～</p> <p>会長： 1回目の投票により、3候補として「①」「⑤」「⑦」に絞られた。それではこの3つから決選投票を行う。 → 将来像について、3つの候補の中から再度投票により選考</p> <p style="text-align: center;">～投票～</p> <p>会長： 2回目の投票により、3つの候補すべて同じ票になった。それぞれについて、思いを発言いただきたい。</p> <p>委員： この将来像はどこで使うのか。あまり長いと良くないと思って⑤に投票した。</p> <p>委員： 「みんなで住みよい 安全安心のまちづくり」などはいかがか。</p> <p>会長： 折衷案なども考えられる。例えば今のご意見は⑤と⑦の折衷になる。しかし、そうなると「健康と学習」が抜けてしまうなど、皆さんの思いが必ずしも全て反映されることにはならない。</p> <p>委員： あまり抽象的なことは言わず、分かりやすくシンプルが良いのではないか。</p> <p>会長： 今のご意見を踏まえ挙手で再度投票いただきたい。  → 将来像について、挙手により3つの候補の中から再々度選考</p> <p>会長： 挙手による投票の結果「⑤みんなで住みよいまちづくり南越谷」となった。異議はあるか。</p> <p>委員： 異議なし</p>
<p>その他</p>	<p>○委員から全体をとおした意見等について</p> <p>委員： 越谷市議会だよりの市政に対する一般質問のところで、第4次から5次にかけての質問があり、市長のお答えが「第4次は重点戦略として子どももお年寄りも元気な創造未来プロジェクト、第5次になると財源を確保するという意味で土地活用や産業振興を目指し」となっている。私たちが今回ワークショップの中で担当したのは第4次の重点のところであった。第5次になった時に、これがなくなるわけではないのか。今提言していることが薄れていくことになるかと危惧している。</p> <p>事務局： これから計画を策定していくことになる。現在重点戦略の中でそのような文言を入れているが、5次においても重点戦略といった構成にするかどうかは未定である。第4次で取り組んでいたものを後退させることは考えづらい。ただ、それを重点戦略にするのか、ある</p>

いは重点戦略そのものを入れるかどうかは今後検討していくものである。

○事務局から今後の予定について

事務局：

- ・ 11月18日午前中に地区まちづくり会議代表者会議を開催する。南越谷地区からは、会長にご出席いただき市長へ提言書を提出いただく。また、来年度は2回（令和2年4月、11月頃）。再来年は1回（令和3年6月頃）の開催を予定している。
- ・ 来年度に設置される「越谷市総合振興計画審議会」に委員の互選により地区から1名選出いただく旨、協議する。